(別紙)納品媒体ラベル作成例

1.共通事項

「電子納品ラベル」の受注者記名欄、発注者記名欄に必ず署名または記名すること。記名の方法は署名、記名のいずれでも可とする。なお、「電子納品ラベル」に受発注者ともに署名した場合は様式１「電子媒体納品書」に代えることが出来る。なお、電子納品ラベルに署名がなされていない場合は様式１「電子媒体納品書」を提出すること。

記載内容は下記を参考とし、記載すべき情報が読み取ることが出来れば、文字の配置、大きさ、情報の分割、貼り付け位置等は変更しても良い。

2.ＣＤ－ＲＯＭ、ＤＶＤ等の場合

下記を参考にラベルを作成、ＣＤ－ＲＯＭ、ＤＶＤに印刷する。



3.ＳＤカードの場合

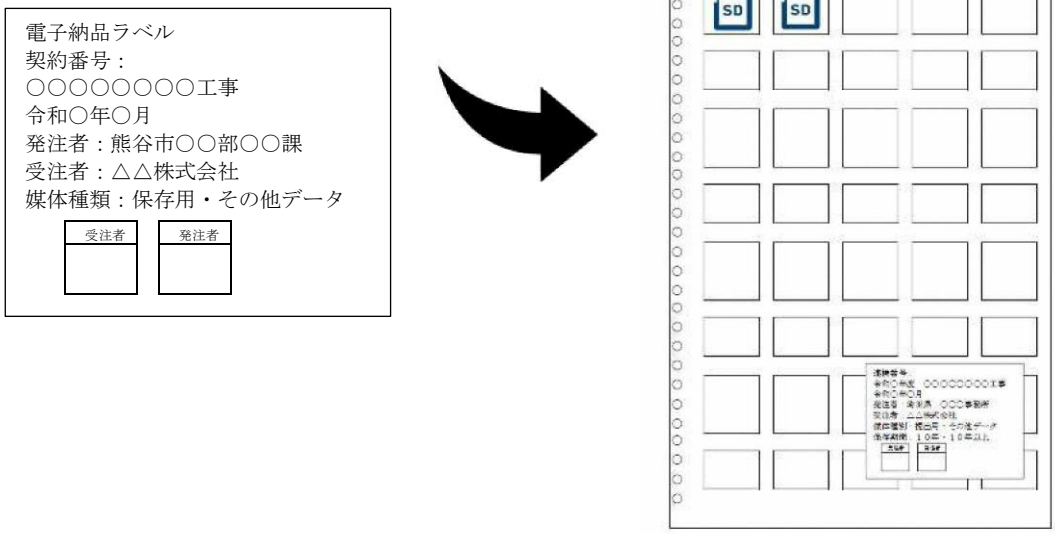
ＳＤカードは「標準ＳＤカード」を原則とし、市販のＳＤカード用ジャケットに収めて納 品すること。microSD を納品媒体とする場合は、紛失防止のためＳＤカードアダプターに収 めること。なお、ＳＤＨＣ,ＳＤＸＣ、ＳＤＵＣの規格は問わない。

ラベルは下記を参考に、ジャケット(ＳＤファイルシート等の名称)およびＳＤカードに それぞれ貼り付ける。ジャケットはシートタイプのＡ４サイズを基本とし、紙ファイル等に 綴じて提出すること。なお、Ａ４サイズ程度のハードカバー付きジャケットに収める場合は 紙ファイルに綴じる必要はない。

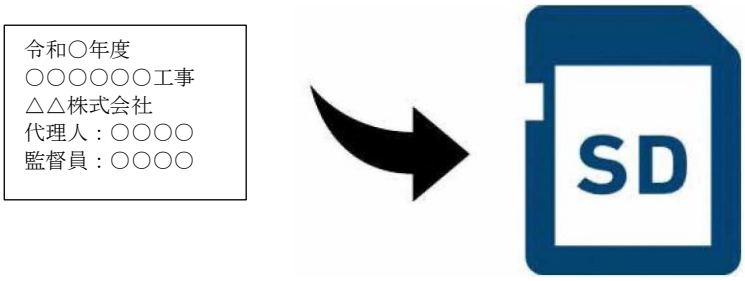
ＳＤカードには一般に市販されているＳＤカード用シールに発注年度、工事件名の略称（識別できる内容なら省略方法は問わない）、代理人名、監督員名を記名し、ＳＤカード本 体に貼り付ける。

なお、ＵＳＢメモリの場合もＳＤカードに準じて納品すること。

電子納品ラベル



ＳＤカード用 ※市販のラベルを参考にする



ＳＤカード用ラベルは紛失防止の観点で貼付けするものであり、受注者および発注者は記名とし、署名の必要はない。ＵＳＢ等ラベルの貼付けが困難な場合は、油性ペンによる通し番号をＵＳＢ本体および提出用ジャケットに記載することも可とする。

ＳＤカード用ラベルは紛失防止の観点で貼付けするものであり、受注者および発注者は記名とし、署名の必要はない。ＵＳＢ等ラベルの貼付けが困難な場合は、油性ペンによる通し番号をＵＳＢ本体および提出用ジャケットに記載することも可とする。

４.ＨＤＤ、ＳＳＤ等の場合

下記を参考にラベルを作成、ＨＤＤ等の本体に貼りつけする。媒体の表面にラベルの貼付けが

困難な場合は、油性ペンを用いてラベルと同等の内容を記載してもよい。この場合、受注者および発注者の署名がある場合は様式１「電子媒体納品書」に代えることが出来る。

電子納品ラベル

電子納品ラベル
契約番号：
〇〇〇〇〇〇〇〇工事
令和〇年〇月
発注者：熊谷市〇〇部〇〇課
受注者：△△株式会社
媒体種類：保存用・その他データ

受注者	発注者

